

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード

131506

あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業名

小規模作業所補助事業

担当部局・課

健康福祉部
障害福祉課

事業内容

障害があるため、企業等に就労することが困難な者を対象にして定期的に作業訓練等を実施している団体で市長が適当と認めたものに対して、補助を行う。

事業開始(予定)年度

昭和63年度

事業終了(予定)年度

—

この事業の
上位施策

これから5
年間のまち
づくりプラン

視点

項目

施策

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的

起業等に就労することが困難な在宅の身体障害者、知的障害者、精神障害者を対象として、社会参加への機会を与えるために作業訓練等を実施している小規模作業所に対して、運営経費等の一部を補助することで、障害者の自立を促進する。

予算費目
(複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)

(款) 民生費
(項) 障害福祉費
(目) 障害福祉総務費

(事項) 自立支援事業費

事業費等の概算

平成17年度(決算)

事業費

136,132千円

投入人員

0.28人

人件費

2,398千円

経費合計

138,530千円

平成18年度(予算)

事業費

142,735千円

投入人員

0.28人

人件費

2,398千円

経費合計

145,133千円

活動指標

指標名(単位)

意味・算式等

作業所利用者数（人）

作業所（地域活動支援センター）利用者の増加を目標とする

計画と実績

年度
区分

H17年度

H18年度

計画値

実績値

150

145

160

評価結果

C

上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。